

風しん定期接種の対象とする抗体価について

- 風しんについて、集団免疫の観点から十分な免疫があるか否かの判断は赤血球凝集抑制法(HI法)で「8倍未満」としてきたところ。
- 昨年12月13日の合同部会の議論の結果、今回行う事業に関しては、不確実性を考慮し、より一層の安全を担保する観点から、定期接種の対象をHI法で「8倍以下」(8倍以上16倍未満を含む)とする。
- なお、HI法以外の検査方法も含めた定期接種の対象は、次の表のとおりとする。

測定キット名(製造販売元)	測定原理	抗体価の単位	抗体価
風疹ウイルスHI試薬「生研」(デンカ生研株式会社)	赤血球凝集抑制法 (HI法)	(希釈倍率)	8倍以下
R-HI「生研」(デンカ生研株式会社)	赤血球凝集抑制法 (HI法)	(希釈倍率)	8倍以下
ウイルス抗体EIA「生研」ルベラIgG(デンカ生研株式会社)	酵素免疫法 (EIA法)	EIA価	6.0未満
バイダス アッセイキットRUB IgG (シスメックス・バイオメリュー株式会社)	蛍光酵素免疫法 (ELFA法)	国際単位 (IU/mL)	25未満
エンザイグノスト B 風疹/IgG (シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社)	酵素免疫法 (EIA法)	国際単位 (IU/mL)	15未満
ランピア ラテックス RUBELLA(極東製薬工業株式会社)	ラテックス免疫比濁法 (LTI法)	国際単位 (IU/mL)	15未満
アクセス ルベラIgG (ベックマン・コールター株式会社)	化学発光酵素免疫法 (CLEIA法)	国際単位 (IU/mL)	20未満
i-アッセイCL 風疹IgG (株式会社保健科学西日本)	化学発光酵素免疫法 (CLEIA法)	(抗体価)	11未満